



時代の変革期に何をなすべきか

目黒区議会 生活福祉委員会

委員長 いその 弘三



もえぎの会の皆さん、こんにちは、目黒区議会で生活福祉委員会の委員長という職をさせていただいている「いその弘三」と申します。

もえぎの会は「自助自立」を標榜していると伺いましたが、2006年障害者自立支援法が制定され障害者への福祉施策が大きく変化をしていく中で、貴会の理念と一致する方向性であるとともに、理事長以下運営に携わる方々への期待がさらに大きくなっていることと思います。

目黒区においても、これら自立と社会参加・支援といった事から、統廃合した旧目黒六中跡施設を活用しての就労支援と放課後対策への着手。上目黒・中央町福祉工房を旧清水小売市場への統合といった、長年にわたり多くの皆さんの要望がようやく実現されてきます。どうか、この施設(ハード)が区内障害者の方たちの「希望の場」となるように、私も含め多くの方々の協力によって中身の充実(ソフト)がされていかなければなりません。

目黒区だけでなく2008年世界同時不況の影響から、来年22年度予算は国・地方とも厳しい予算組みが予想されます。今を必死に生き、次世代への負担を極力無くしたいと願うのはどの親も同じであると思います。少しずつ変わりゆく社会の中で、変わらぬものを私たちは大切にしなければならぬと思います。それは「みんなと生きているからありがたい」という日本独自の文化だと思えます。自分さえ良ければ！というのはこれからの社会では許されません。

どうか、「もえぎの会」の活動が少しずつ、一步一步前進し、まちの「かけがえのない唯一無二」の存在として時代の変化とともに飛躍されることを心より願い、私たち目黒区生活福祉委員会のメンバー8名はより良き方向性を見出すために、実体を把握し頑張っていきたいと思えます。

しいの実まつりのお知らせとお願い

今年は、11月28日(土)に開催いたします。スタッフ・社員一同お待ちしておりますので、ぜひ、お誘い合わせの上、お越しください。

恒例の後援会のバザーも企画しておりますので、献品に、ご協力をお願いいたします。11月20日(金)までに、ご連絡をお願いします。

ただし、下記のものはお預かりできませんのでご了承ください。

- ・ 賞味期限の切れた食品
- ・ 古着・古本



(献品の連絡先： しいの実社 ☎03-5724-7153岡田なおこ)

しいの実社宿泊研修旅行

今年の社員研修旅行は箱根。バスと電車の2組に分かれて9月11日～12日、18～19日の1泊2日の日程で行って来ました。どちらの旅行も日常の仕事の中では体験できない充実した楽しい時となり、社員の仲間同士の距離もまた少し近くなったのではないかと思います。

例年通り後援会の支援により楽しく、有意義な体験をすることができ、ありがとうございました。

《バス》

1日目は皆で蒲鉾づくりを体験し、地球と生命の星博物館にも行き恐竜の骨や隕石などを沢山見ました。宿では温泉に入り、夕飯後は恒例のカラオケ大会。大盛り上がりのうちに時間があっという間に過ぎてしまいました。2日目はあいにくの雨となり、グループに別れての行動を変更。皆で箱根園に行き、水族館や芦ノ湖湖畔を楽しみました。

蒲鉾づくり体験



バスガイドさんと

カラオケ大会



《電車》

新宿駅から小田急ロマンスカーに乗って出かけました。電車の風景を楽しむのが好きなメンバーが多いので乗り物での移動をふんだんに取り入れた行程となりました。1日目は小田原での昼食後バスで港へ移動、海賊船に乗り宿に到着。宿ではおいしい夕飯の後、こちらもカラオケで盛り上がりました。2日目は幸い天気にも恵まれ小グループに分かれて芦ノ湖散策や強羅公園散策などをしてロマンスカーで帰途に着きました。

海賊船



ロマンスカー





第8回しいの実祭

例年しいの実社の設立記念日に合わせて11月に開催させて頂いているしいの実祭も、8回目となりました。今年も自社製品販売に加えて、目黒区内の他施設を招いての販売や、清水町会による焼きそばなどの模擬店、後援会のバザー、しいの実社内食堂での模擬店などを行う予定です。

昨年度まで同日に開催していたでかばっぐによる人形劇やパネルシアターや、区内在住の岡部さんによるオカリナ演奏などのイベントについては、日程をずらして土曜開所の企画として、地域のお子さんを招いて実施する予定です。

新体系移行に伴う作業場の変更等で社内のスペースは昨年よりも小さくなってしまいますが、その分近隣のご協力を得て外のスペースを活用して、今年もお祭りを楽しく盛り上げたいと思います。皆様のご来場をお待ちしております。

日時: 11月28日(土) 10:00~15:00

会場: しいの実社

* 学芸大学店での販売は行いません。



昨年のしいの実祭の様子

秋の販売スケジュール

- 10月11・12日(日、月・祝) 自由が丘女神祭り
- 10月12日(月・祝) スポーツ祭り 碑文谷体育館
- 10月18日(日) 中目黒公園祭
- 10月24日(土) 地域福祉のつどい 中目黒GT
- 10月25日(日) 東京学園祭 クラフト・織物のみ
- 10月31日(土) 音楽祭(パーシモンホールにて販売)
- 11月1日(日) 邦楽大会(パーシモンホールにて販売)
- 11月7日(土) 消費生活展 目黒区民センター

学芸大学ショップより



今年1月にしいの実社学芸大学店がオープンして9ヵ月が過ぎました。おかげさまで、地域に密着したお店として、みなさまに支えられながら、日々たくさんのお客様をお迎えし、営業しております。

オープン当初はしいの実社スタッフの協力を得ながら営業して参りましたが、7月から9月にかけて2名のスタッフが加わり、ようやく安定した店舗運営ができてきました。次は、しいの実社の社員がお店に立つという新しいステージに進むことができそうです。

現在、施設から外に出て働くモービルの仕事の一貫として、社員がパンを運び、パンの陳列作業をしています。11時開店前は、開店準備に追われ、とても慌ただしい時間です。そのような中、社員がパンの陳列作業に加わることで、作業がどんどん進み、心強い助っ人となっています。(高木 美那)

日本文化精工株式会社

日本文化精工さんは、目黒通り沿い、スーパーダイエーの近くに本社ビルのある特殊印刷機の会社です。気さくで頼りがいのある印象の二代目清水社長にお話を伺いました。



昭和9年に東京本郷で創業し、昭和15年に現在の目黒区碑文谷に移転してこれから来年で70周年になるとのことです。「今は紙以外のもので印刷が出来ない素材はほとんど無いですよ」と言われるように、光ディスクを始め携帯電話などのキーパッド、医療用点滴袋、スピードメーターなどの車載計器、電子部品のパネル、さらには巻き尺、お菓子本体への絵文字の印刷に至るまですべてが特殊印刷機の開発のおかげで可能になりました。紙ではない特殊なものへの印刷なので需要は多岐にわたる上、時代の変化にも影響される現状ですが、これから期待しているのは、太陽電池パネルの印刷技術への需要拡大とのことです。

社会活動にも関心を持ち、目黒区の「緑のカーテン化計画」に参加したり、小学生の見学を受け入れての環境教育にも協力、また区内でのボランティア活動の収益金を障害者団体へ寄付もなされています。

しいの実社の製品や日ごろの活動について熱心につきつぎと質問をしてくださり、これからのしいの実社にとり良いご縁が出来たと感じました。

(ホームページ上で興味深い動画を見ることが出来ます) <http://www.npt-print.co.jp>



日栄商工株式会社

ビル総合管理、建物清掃、シロアリ防除、各種防水工事など、いわゆる社会の環境衛生に取り組んでいらっしゃる「日栄商工株式会社」をお訪ねしました。代表取締役の末松尚武さんは、東京目黒ロータリークラブでもご活躍中です。下目黒2丁目の本社ビルに伺い、常務取締役、営業本部長の楠本光雄さんにお話を伺いました。

「もともと、設立した昭和35年当初はビルの消毒から始めて、新築住宅のシロアリ防除を請負い、住宅のテラスの防水も手がけるようになりました。」とお話してくださいました。来年は創立50周年を迎えられるそうです。消毒は六本木ヒルズからはとバスまで広がっています。現在は、木造住宅やビル改修の防水工事がメインとなっています。昨今は環境問題が厳しく問われる時代で、シロアリの薬剤も、匂いを95%以上カットした材料が使われています。

現在本社に約50人、専属の職人さんが約60人いらっしゃるとのこと。「今は、がまんしながら、ワークシェアリングしながら、乗り切ってゆきたいですね。新しい若い力にも期待しながら。」とおっしゃる楠本さん。また、「常々『人は人、うちはうち』と言っていますが、わが社が他と違う特徴は、すぐに対応できる、サービスができるという社内の体制の強みです」とのこと。利用する側にとってはいざという時も安心ですね。



しいの実社では、以前はラスクやクッキーを置かせていただきました。夕方、お仕事先から帰ってきた社員の方々が楽しみにして下さったようで、また、再開できたらいいですねといううれしいお言葉も頂きました。これからもよろしくお願いいたします。

(会社のホームページで、「防水部」の紹介や修理の流れなどが掲載されていました。) <http://www.nichiei-group.co.jp/>

サッポロホールディングス株式会社



恵比寿ガーデンプレイスのきれいに手入れされた花々を眺めながら本社ビルに秘書室長の松本弘さんをお訪ねしました。

3万坪の敷地内を目黒と渋谷の境界線が走っているという本社ビル。明治22年に目黒村三田に工場が建設され、甘い麦汁の匂いが漂っていた原っぱも、工場が千葉県船橋市に移転。今ではすっかり東京のオアシス的存在に変わりました。その千葉工場にはビオトープ園があり、そこで誇りをもって作業に当たっているのが知的障がいを持つ人たちなのです。地域貢献活動のひとつに、知的障がいを持つ人たちが活躍できる機会を作ってゆけるよう、様々な取り組みがされています。

松本さんは「知的障がいを持つ人も外に出ていくことが、社員や一般の人にとっても良い刺激になって、勇気づけることになるのでは。」と、普段の思いをお話してくださいました。また、CSR(企業の社会的責任)の中で、重点的に取り組んでいらっしゃるのが「環境負荷の問題」と「アルコールと健康問題」の二つです。地球環境のために環境負荷の低減に取り組み、世界ではじめてカーボンフットプリントを表示したビール商品を試験販売されました。また、アルコール依存症の問題、啓発活動の一つに「STOP! 未成年者飲酒」プロジェクトも展開されています。

製品に関しても、畑から品質を保証したい思いで、「麦芽とホップの100%協働契約栽培」を世界10カ国約2100軒の顔の見える生産者で実現していらっしゃいます。「数あるビール会社の中で他社と違うところは農業から販売までということでしょうか。」と笑顔で話される松本さんです。

最後に、もえぎの会との関わりのきっかけは？の問いに「授産施設の会員になるケースは全国ではないのですが、地元貢献という考えです。ふるさとは創業の地、北海道。外食部門では銀座(日本最初のビアホール)、古くからの事業がこの目黒、恵比寿。ということで、お誘いいただいたときに、目黒についてはもえぎの会にと入会いたしました。」貴重な判断をいただきありがとうございました。これからもよろしく願いいたします。

新規後援会員をご紹介ください

年会費 1口1,000円 個人会員 1口以上、 法人会員 10口以上

会費はお手数ですが、直接お持ちいただくか、下記口座へお振込みください。

郵便振込口座 00130-5-667751

口座名義 もえぎの会後援会

問い合わせ先 もえぎの会後援会事務局(電話:03-5724-7153)

* 恐れ入りますが振り込み手数料はご負担願います。

沙羅の家

3周年記念食事会

世話人 長谷茂雄

沙羅の家は今年8月で開設3周年を迎え、4年目に入りました。今年は最後の入居者も決まり、定員の6名いっぱいになり、新たなスタートの年になりました。去る9月5日には3周年を記念して昼食会を開催し、利用者のご家族やこれまでに協力いただいたスタッフやボランティアの皆さん等が集まり楽しい時間を過ごすことができました。また、この昼食会では3年間で撮りためた写真の一部を皆さんで見ながら成長などの変化を再確認しましたが、改めて振り返ってみると本当にあっという間に過ぎたという印象です。



外出イベント@碑文谷公園

少し前のことになりますが、今年の4月29日の祝日に碑文谷公園へ出かけました。沙羅の家からは徒歩で15分程度のところにあるので散歩には程よい場所にある公園です。ご存知の方も多いかと思いますが、碑文谷公園は木々が多く、中央には池もありボート乗りも楽しめる場所になっています。この日は天気にも恵まれたのでボートに乗ったり、ウサギなどの小動物を眺めたりとゆっくりとした休日の時間を過ごすことができました。

昼食には初めて回転寿司にもチャレンジしてみましたが、みなさん流れてくるお寿司に目を輝かせて美味しそうにたくさんのお寿司に舌鼓を打って大満足な様子でした。ただ、次から次へとお寿司が流れてくるので終わるタイミングが難しいのが回転寿司の難点ですね。



編集後記

いよいよ今年も残すところあと3か月弱となりました。しいの実社では2大イベントの旅行を終え、しいの実祭りの準備が本格化してきます。法人では新事業の開設準備も開始しました。何事も前向きにとらえて、力を合わせて進めていきたいと思えます。皆様今後ともご協力よろしく願いいたします。(岡田なおこ)

発行: 社会福祉法人もえぎの会

住所: 目黒区目黒本町2-7-3

(法人本部) 電話: 03-5724-7153

e-mail: shiinomisha@abeam.ocn.ne.jp

http://www.moeginokai.jp/

